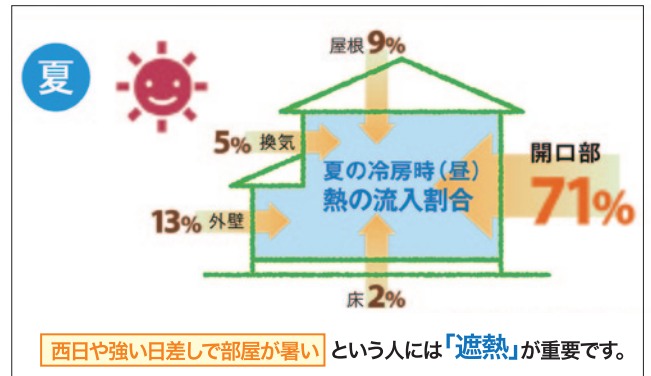


熱の出入りが最も多い窓こそ、住まいを快適にするキーアイテムです。

図を見ると、夏の冷房時に家全体に入ってくる熱のうち、窓やドアの開開口部を通るものは7割以上になります。冷暖房のムダを省き、効率よく利用するためには窓対策が重要です。

遮熱とは？

太陽の直射熱（日射熱）の多くは、窓面を突き抜けて、室内に侵入します。日射熱が部屋に侵入するのを防ぐことを「遮熱」、または「日射遮蔽」といいます。遮熱性能が高いほど、この日射熱の侵入を少なくできます。



出典：(社)日本建材産業協会 省エネルギー建材普及センター「21世紀の住宅には開口部の断熱を…」より平成4年省エネで建てた住宅モデルにおける例

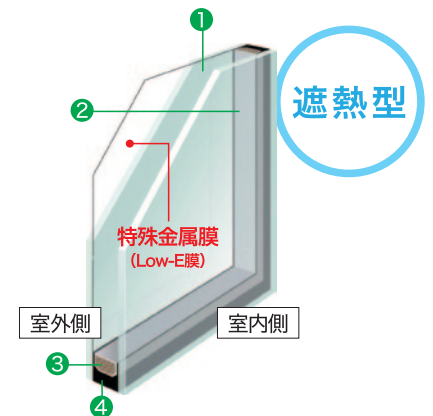
熱の出入りを軽減するなら、ガラス選びがポイントです。

次世代エネルギー基準に適合してさまざまな環境に対応する「複層ガラス」。中でも、遮熱機能を発揮する「Low-E 複層ガラス」なら、効果的に熱をコントロールできます。

<p>1 中空層 乾燥中空層が複層ガラスの断熱性能を確保します。</p> <p>2 アルミスペーサー ガラスの間隔を保ちます。また、ホロー部には乾燥剤が入っています。</p>	<p>3 乾燥剤 中空層を長期間、乾燥状態に保ちます。</p> <p>4 封着剤(二重シール構造) ●1次シール(内部側)：ガラスとスペーサーのすき間から大気中の水分が侵入するのを防ぎます。 ●2次シール(外部側)：複層ガラスの構造を保ち、1次シールを保護します。</p>
---	--

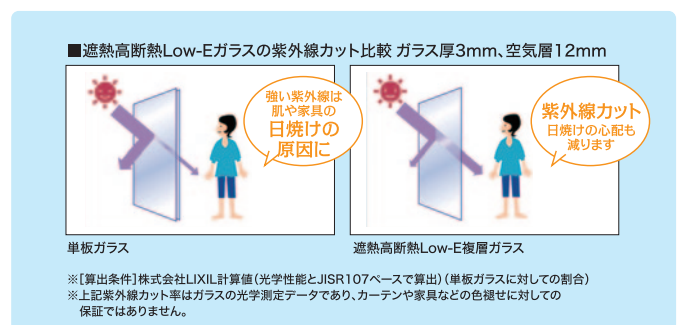
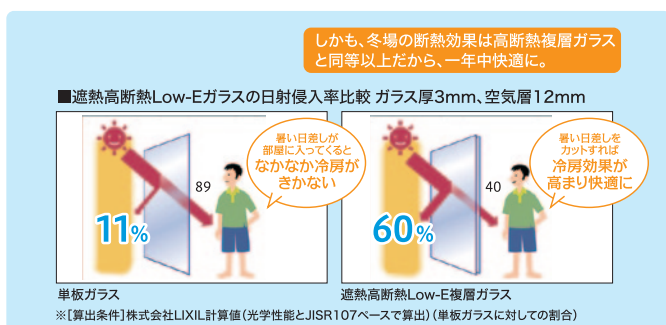
遮光高断熱型 Low-E 複層ガラス にすると…

- 暑い日差しをカット
- 冷房効率アップ
- 紫外線カット
- 室内の明るさはそのまま



夏の強い日差しはカットして、冬は暖かいます。

人体に有害な電磁波、紫外線もカット！

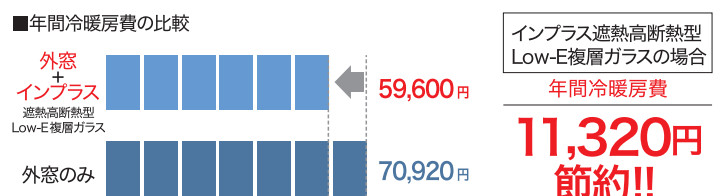


特殊金属膜効果で、室内の明るさはそのままに、夏の強い日差しを約60%カットし、冷房効果を高めます。

紫外線は人体や住まいに有害な電磁波です。人間の皮膚の表面に作用して日焼けを生じさせたり、カーテンや家具などの色褪せの原因のひとつとなります。特殊金属膜なら、紫外線をより多くカットします。

遮熱効果と断熱効果で、一年中快適な住まいに。

冬は暖かい熱を外に逃がさず、夏は涼しさをキープするから、年間冷暖房費も大幅ダウン。家計にも環境にもやさしい住まいに生まれ変わります。



※【算出条件】趣味レーション地区：東京 ○2階建て/4人家族/居室の窓(9窓)にインプラスを設置